

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	学びの県づくり				
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり				
	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、平成31年4月1日現在、農学部で121名の学生が学んでいる。 卒業生は自家就農や農業法人への就職、農業協同組合、農業関連企業に就職し、多くの卒業生が本県農業の振興のために活躍している。 H26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、一般コースの農家実習の拡充（24日→45日）、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めており、就農率は35.4%（H26）から55.6%（R1）と向上している。
	【目指す姿】 理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進み、寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。
	【実施内容】 実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の習得教育を実施。 生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施。 里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施。

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
														前年度繰越			
														予算額			
														現計予算	72,199	73,403	
														合計(A)	72,199	73,403	
														うち一般財源	44,162	43,750	
														決算額(B)	68,806	70,206	
														職員数(人)	32	30	
1	農学部 卒業生就農率(%)	54.8	63↗	55.6↘	67	未達成											
2	研修部 けん引免許取得率(%)	99.6	100↗	99↘	90	達成											
3	研修部 大型特殊免許取得率(%)	100	100→	100→	95	達成											
4																	

成果指標 設定理由	①農大改革の主要目標となっている「農学部卒業生の就農率向上」を位置付けた。 ②、③研修部で実施する研修の中で農業機械技能研修は重要な項目の一つとしているため。
達成状況 の分析	①農業法人等合同説明会の開催や先進農業者からの講義の実施などにより、農業の魅力をPRし、就農率の向上を図ってきたが、就職希望の学生が一定程度あったため、目標を達成できなかった。 ②、③研修生への丁寧な指導により、研修部の大型特殊、けん引免許取得率は、目標を達成した。

主な取組	○AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化 ・スマート農業の講義を開講し、研究開発の第一人者より最新の知見を教授 ・スマート農業機器(環境モニタリングシステム)を1台導入し、先端機器を体験
	○新規就農里親前基礎研修、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催 ・新規就農者を養成するため、「新規就農里親前基礎研修(通年)」や「就農体験研修(6回)」の実施 ・就農希望者等の大型特殊自動車及びけん引免許取得を支援
	○「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保する取組を支援 ・「農ある暮らし入門研修」を開催し移住者等を支援

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の実施や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、意欲ある学生の確保と就農率の更なる向上を目指す。

事業番号 09 03 05 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	農業大学校運営費	48,786 千円	47,914 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科では、先端分野であるスマート農業の講義や実習を新たに実施した。 平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	実科・研究科費	6,099 千円	5,945 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	研修部費	9,493 千円	10,207 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修（大特7回、けん引5回）を実施した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	農業大学校施設整備費	4,428 千円	6,140 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	農業大学校施設整備費	直接	松代記念館へのエアコン設置及び松代校内電話設備更新工事を実施した。 研修部で台風第19号での研修圃場法面崩落復旧工事を実施した。